



# 水俣市 社協だより

(題字 水俣市社会福祉協議会会長 宮本勝彬)

<第42号>

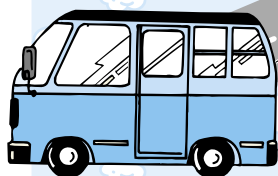
平成19年1月15日発行

社会福祉法人  
水俣市社会福祉協議会  
熊本県共同募金会水俣市支会

水俣市牧ノ内3番1号  
TEL 0966-63-2047  
FAX 0966-63-3570

## 心ふれあう福祉のまちづくりをめざして

もやいで  
お出かけ



もやいで  
リフレッシュ



## ～ふれあいリフレッシュ事業～

社会福祉協議会では、熊本県から胎児性水俣病患者の方などに対する地域生活支援事業の委託を受け、昨年秋、「ふれあいリフレッシュ事業」を開催しました。

これは、胎児性水俣病患者の方々や介護を必要とする障がいをお持ちの方に対し、ボランティアとの交流や、介護者である家族等の心身のリフレッシュを目的に実施したものです。

胎児性水俣病患者さんをはじめ、障がい者や家族、ボランティアなど総勢38名の参加者は、希望するコースごとに3班に分かれ、お隣の大口市(曾木の滝公園)で紅葉狩り、八代市のショッピングセンターでお買い物、もやい館デイサービスセンターでレクリエーションなどをそれぞれ楽しみ、充実したひとときを過ごしました。「楽しかった。また来たい。」などの声を受け、今年も第2弾を実施予定です。

# 新年のごあいさつ

社会福祉法人 水俣市社会福祉協議会 会長 宮本勝彬



あけましておめでとう  
ございます。

皆様には健やかに新年  
をお迎えのことと心から  
お喜び申し上げます。

昨年は、年間を象徴する漢字として「命」が選ばれましたが、「いじめ」による自殺や子供の虐待といった命の大切さを感じさせる事件が相次ぎ、大変心を痛めた年でありました。本年は、どうか明るい話題にあふれ、ありがとうございます。交う思いやりに満ちた年でありますよう心から念じるものであります。

さて、地域福祉を取り巻く環境は、介護保険法の改正や障害者自立支援法の施行により大きく変化してまいりました。

また、当市におきましては、年間出生数が二〇〇人を下回り、また高齢化率も二九%を超え、いよいよ少子高齢化に拍車がかかっております。

社会福祉協議会といたしましては、皆様からの会費や善意の寄付金、共同募金の配分金をもとに、高齢者や障がいのある方が地域で安心して暮らせるための車椅子等福祉用具貸付事業や介護者リフレッシュ事業、ボランティア育成事業などを進めております。また、

介護保険によるホームヘルプ事業や移動入浴車派遣事業など在宅福祉の取り組みや、ふれあいネットワーク事業など各種の地域福祉活動を展開いたしております。

本年も昨年同様、介護保険事業や地域包括支援業務など在宅サービス活動に努めるとともに、地域の福祉力を高めるためのボランティアの養成やふれあい活動の拡大を積極的に推進してまいりたいと考えております。

終わりに、本年も職員一同、皆様の温かい善意に支えられながら、地域福祉の課題に精一杯取り組んでまいりたいと考えておりますので、なお一層の御支援、御協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。今年も安全運転を御挨拶いたします。

## 交通安全に努めます

ホームヘルパー、訪問入浴介護など社会福祉協議会の仕事には、車がつきものです。

昨年十二月、年末年始の交通量が多くなる時期を前に、水俣警察署交通課の御協力で、職場内で交通安全講習会を実施しました。

今年も安全運転に努めつつ、皆さまのもとへまごころを届けに走ります。

終業後に一時間半の講習を受けました。



今日も安全運転でがんばります。

# ボランティアの1年

春

●ボランティア講座  
(視覚障がい者の介助の仕方)



ボランティア講座

●歩こう会  
inエコパーク



水俣市こどもセンターで  
体験学習

夏

●ワークキャンプ

●出水・大口災害救援活動



歩こう会

●しょうがい者スポーツ  
レクリエーション大会



しょうがい者  
スポーツ  
レクリエーション大会

秋

●スペシャルオリンピックストーチャラン

●こころフェスティバル



エコパーク花の里にて

冬

●ふれあい  
リフレッシュ事業



冬休みの  
ボランティア

など

## ご存知ですか？ ボランティアセンター

ボランティアセンターは、ボランティアをしたい人、必要とする人をつなぐ橋渡しの場であり、ボランティア自身が情報交換、研鑽を行うための交流、自己啓発のお役に立つところです。場所は、もやい館二階で、十人程度の小会議ができる場所が二卓あり、ボランティア登録をしていただければ、どなたでもお使いいただけます。

現在ボランティアコーディネーター一名がおり、皆様の御利用をお待ちいたします。お気軽にどうぞ。



## 災害ボランティアに行きました



昨年夏、隣県鹿児島（出水市、大口市など）で起こった水害の救援活動に、多くの市民ボランティアが参加しました。三年前の恩返しのご気持ちもありましたが、被災者同士助け合う地元の方々の絆の強さに感心し、自

主防災活動のお手本をみるようでした。まさに「情けは人のためならず」です。



# お知らせ

## 急募!

### 介護予防支援業務の スタッフを募集します

水俣市地域包括支援センター（もやい館1階）で介護予防ケアマネジメント業務（介護予防ケアプランの作成等）に従事される方を募集します。

募集人員 : 5名程度

資格及び年齢 : 保健師、介護支援専門員、社会福祉士、経験ある看護師（地域ケア、地域保健の経験者）又は高齢者保健福祉に関する相談業務等に3年以上従事した社会福祉主事（年齢、性別不問）

業務内容 : 介護予防ケアマネジメントに必要なプラン作成やそれに必要な調整など

勤務時間等 : 週5日（月曜日～金曜日）、午前8時30分～午後5時

賃 金 : 時間給960円

福利厚生 : 社会保険あり

問い合わせ : 水俣市社会福祉協議会事務局（もやい館内） ☎63-2047

### 生活実態調査の市民調査員の募集

水俣市社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、2001年に策定した地域福祉活動計画の見直しと今後の地域福祉活動に役立てることを目的として、住民生活の実態調査を行います。

調査方法は、約500世帯を一軒一軒訪問して「くらしの声」をていねいに聴かせていただく訪問対話方式の調査です。今回、ボランティア調査員を5名ほど募集します。

まちづくりや地域福祉に関心のある方はぜひ参加しませんか。熊本学園大学生20名も調査員として参加します。

#### 【募集内容】

①募集人員 : 5名程度

②募集締切 : 平成19年1月末

③調査活動期間 : 平成19年3月8日(木)～14日(水)まで

④活動内容 : 訪問によってくらしやまちづくりの課題を聴き取る調査活動

⑤応募条件 : (1)調査初日の3月8日から3日間以上参加できる方

(2)2月・3月中に行う3回の学習会に参加できる方

⑥実費支給 : まちづくりのためのボランティアとして活動していただきますが、交通費などの実費は支給します。

⑦問合せ先 : 水俣市社会福祉協議会 ☎63-2047

担当 久木田・高木